

授業科目名	道徳教育指導法	※必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）					
サブタイトル	道徳的な実践力の育成をめざして	担当者	丸橋 唯郎			
講義概要	<p>【概要】 道徳とは一般に、人間の行為や性格を人間や他の生命体との諸関係のなかで「よい・わるい」「正しい・不正な」等として評価するときの基準を意味する。道徳教育指導法とは、このような基準を子どもたちに伝える方法を学習することに他ならない。</p> <p>【到達目標】 道徳の意味内容を精確に理解した上で、計画的・発展的な指導によって、生徒たちに人間としての生き方について自覚を促すことができる能力を身につける。また、教育採用試験突破の知識を獲得する。</p>					
履修条件	教育原理、教育心理学、教職論、教育行政学、単位取得者を前提とする。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 担当者が用意する。</p> <p>【参考書】</p>					
授業回数	内容					
1	道徳教育とは					
2	道徳教育の時間の目標とその位置					
3	道徳性の詳細					
4	道徳の内容と指導					
5	道徳の時間の授業時数					
6	指導計画の作成					
7	指導に関する配慮事項					
8	道徳教育における評価					
9	『心のノート』の活用について					
10	道徳性と自主的な価値選択能力					
11	道徳教育とインドクトリネーション					
12	道徳教育の意義と問題点					
13	いかに道徳を伝えるか①					
14	いかに道徳を伝えるか②					
15	道徳教育と完成可能性					
評価方法	出席、確認チェックテスト、講義中の質疑応答、課題レポートで評価する。					
評価基準	① 道徳、倫理の意味がわかる ② それらの意味を理解し説明できる ③ それらを疑い合理的に批判できる、の要件の中で、①までできれば C、②までできれば B 以上、③なら文句なく A。					
その他	教育現実の中で「あたりまえ」と考えられていることを疑っていく。 ※高一種免地歴・公民・情報コース履修者には「教科又は教職に関する科目」として開講					